

科目名	復興支援演習2			ナンバリング	REC151	授業形態	演習
対象学年	3 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	鎌田真理子	担当教員	菊池真弓				

授業の概要	本演習では、復興支援演習1で体得してきた知見を踏まえ、防災やボランティア、環境に関する取組等に関して、演習・実習形式でさらに学習を進めることにより、より具体的な復興支援という共通の目的に向かって、集団で動く／を動かすための態度や技能の習得を深めていく。						
到達目標	復興支援演習1等における各自の現場見学やボランティア体験についてグループ・ディスカッションを行い、より広い視野から支援活動のあり方について検討する。さらに、それらを踏まえ、改善策を考え、プレゼンテーションを行う。そして、具体的な「復興支援プロジェクト」へとつなげられるようにする。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	1. 復興支援論、ボランティア論、復興支援演習1を単位取得済みであることが望ましい。 2. 復興支援プロジェクトも続けて受講すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 復興支援演習1を踏まえ、個別テーマへの展開を図ることができる。 2. 対象地域の情報と先行研究を検討し、フィールドワークへの準備が整えられる。 3. フィールドワークの実践を積んだ上で、それらで得た知見をプレゼンテーション・報告ができる。	1. 復興支援演習1を踏まえ、そこで得られた知見と課題点を土台にして、明確な自身の問題意識を形成し個別テーマに取り組むことができる。 2. 対象地域の情報と先行研究を多面的かつ批判的に検討し、自分なりの視点を自覚しつつフィールドワークへの準備が整えられる。 3. フィールドワークの着実な実践を実施し、それらで得た知見を的確かつ多面的にプレゼンテーション・報告ができ、これからの展望を図れている。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○					50%
宿題・授業外レポート	○		○		○		30%
授業態度・授業への参加			○	○			20%

課題、評価のフィードバック	1.課題の振り返りを行い、担当教員がコメントする。 2.フィールドワークに同行し、課題のポイントを指摘し、自身の知見の多面的理解につなげる。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	復興支援演習2とは(ガイダンス)	復興支援演習1で学んだことを踏まえ、本演習2のねらいと流れ、個別・グループ学習の年間スケジュール等を概括的に把握できる。	
	第2回	今年度の演習テーマの設定、問題意識の確認	本演習2のテーマ設定、その目的と問題意識について理解した上で、個別課題の問題意識を提示できる。	
	第3回	先行研究レポートの提出	グループのテーマに関する先行研究をレポートにまとめ、自分たちのテーマに足りないものを見極め、実践への見立てを立てることができる。	
	第4回	問題意識の整理、グループ形成	グループを形成し、グループ課題に関する問題意識を明確にし、復興支援演習1で学んだことの修正点とストレングスを活かせる。	
	第5回	仮説の設定、質問文の作成	前回の内容を振り返り、仮説の設定、質問文作成の要点を理解した上で、グループ別の問題意識に応じた仮説と質問文を作成できるようにする。	
	第6回	事前情報収集①	ゲストスピーカーの講話を実施する。併せて、図書館、アーカイヴ室等を活用し情報収集し、地域分析・地域診断等の手法を用いて、フィールドワーク対象地域のアセスメントができる。	
	第7回	事前情報収集②	ゲストスピーカーの講話を実施する。また、前回の内容を振り返り、情報収集、アセスメントの再検討・深化等を試みる。併せて、フィールドワークへの具体的な展望を図ることができる。	
	第8回	フィールドワークの心構え(振り返り)	対象地域の特性を踏まえたフィールドワークの心構えを確認し、現地調査の準備および聞き取り調査の質問文の見直しを図る。	
	第9回	現地フィールドワーク①	現地フィールドワーク①を実施し、ヒアリングレポートを作成できる。	
	第10回	現地フィールドワーク②	現地フィールドワーク②を実施し、フィールドノートの記述方法を確認しながらヒアリングレポートを作成できる。	
	第11回	現地フィールドワーク③	現地フィールドワーク③を実施し、ヒアリングレポートを作成するとともに、質問項目・質問文の再検討を図る。	
	第12回	現地フィールドワーク④	現地フィールドワーク④を実施し、今回のフィールドワーク全体を通しての課題の提示を含んだヒアリングレポートを作成できる。	
	第13回	報告会準備①	フィールドワーク①②③④を振り返り整理・検討するとともに、グループ別のレジュメを作成し、プレゼンテーションの準備を進める。	
	第14回	報告会準備②	前回の内容の批判的検討を含んだ整理・検討を実施し、プレゼンテーションの準備を完了する。適切な役割分担を行う。	
	第15回	報告会	集団で動く/を動かすための態度や技能の習得を通して、現地調査報告会にてプレゼンテーションを行う。各グループの相互評価を実施する。	
	試験	定期試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に授業計画に沿って、各回のテーマに基づいた演習を行う。必要に応じて、ゲストスピーカーを招いたり、大学の内外の施設を活用しながら進めていく。適宜授業内レポートや宿題を課す。現地フィールドワークに向けた授業設計が骨子となっている。		
授業外学習の指示		配布資料等を参考に、演習内容を復習する。不明な点の確認、問題の深化を図るために、各種文献資料やインターネット等を活用したり、担当教員に積極的に質問すること。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	教科書は使用しない。随時、プリント等を配布する。
参考書	授業の内容に応じて適宜指示する。
参考URLなど	復興庁ホームページ http://www.reconstruction.go.jp 福島県庁ホームページ http://pref.fukushima.lg.jp いわき市役所ホームページ http://www.city.iwaki.fukushima.jp
その他	

ルーブリック「復興支援演習2」

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		レベル3（模範的、理想的）	レベル2（標準、合格）	レベル1（要改善、不合格）
1	個別テーマへの問題意識・関連する先行研究の整理と確認	個別テーマへの問題意識が、関連する先行研究を多角的に検討した上で明確化されている。	個別テーマへの問題意識、関連する先行研究が提示されている。	個別テーマへの問題意識があいまいなままで、関連する先行研究を踏まえていない。
2	個別テーマに関する情報収集とアセスメント	個別テーマに関する適切かつ豊富な情報が収集されており、実践に直結できるアセスメントが実施されている。	個別テーマに関する情報収集とアセスメントが適切に行われている。	個別テーマに関する情報収集が不十分で、アセスメントが一面的である。
3	対象地域への視点	対象地域特有の特性を踏まえた地域診断・地域分析を踏まえた、具体的な視点・アプローチが提示されている。	地域診断・地域分析の基礎的・一般的手法を踏まえた上で、対象地域への視点・アプローチが示されている。	地域診断・地域分析の基礎的・一般的手法を踏まえているが、対象地域への視点・アプローチが不明確なままである。。
4	フィールドワークの心構え	対象地域特有の特性を踏まえたフィールドワークの心構えが整っている。	基本的・一般的なフィールドワークの心構えが整っている。	基本的・一般的なフィールドワークの心構えが不十分なままである。
5	フィールドワークの準備・実践・分析	対象地域の特性を踏まえたフィールドワークの準備を十分しており、実践で得られた知見を多面的に分析している。	フィールドワークの準備が一通り整った上で、実践を行っており、得られた知見の分析を行っている。	フィールドワークの準備が不十分なままで実践に入っており、得られた知見の分析が偏っている。
6	フィールドワークで得られた知見のプレゼンテーション	フィールドワークで得られた知見を適確かつ多面的にプレゼンテーションしている。質疑応答に適切に答えしており、課題点も明確に示している。	フィールドワークで得られた知見を適確にプレゼンテーションし、質疑応答に答えている。	フィールドワークで得られた知見とプレゼンテーションが乖離している。適切な質疑応答が見られない。
7				